



PRODUCED BY mont-bell

## 取扱説明書

# ユークン 400T

## Yukon 400T

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものでありカヌー(パドルスポーツ)の操作方法などを解説するものではありません。正しい使用方法を資格のあるインストラクターのもとで習得し、安全な条件のもとで十分な練習を行ってください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベルカスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

## ■ 特長

湖から穏やかな流れの川まで対応する折りたたみ式のカナディアンカヌーです。安定感のあるワイドな艇身でありながら、直進性と操作性を兼ね備えたボトム形状により2人でのツーリングからソロのキャンプツーリングまで手軽にオープンデッキスタイルを楽しめる艇です。

- 必ずお読みください..... 1~3
- 各部の名称、梱包品..... 4
- 組み立て方法..... 9~20
- 分解、収納方法..... 21
- 修理及びパーツリストについて..... 22

## ■ 安全上の注意 必ずお読みください

**⚠ 危険** 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- カヌー(パドルスポーツ)は場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。
- 本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。
- 本製品に鋭利な物に当てたり、強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 必ず、ライフジャケット(救命胴衣、フローティングベスト)を着用してください。
- 救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携帯してください。
- 自分の能力以上の行動は慎んでください。
- 本製品は湖や穏やかな流れの川で使用してください。流れが急な場所では使用しないでください。
- 気象の変化により思いもよぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。
- 本製品の底が当たるような浅瀬、悪条件や悪天候下では本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、破損の恐れがあります。

**⚠ 警告** 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 空気が漏れている状態では絶対に使用しないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 本説明書にある組み立ての方法に従ってください。本製品は正しく組み立てられていないと、本来の構造的な強度を失い破損する恐れがあります。
- 乗艇、脱艇、再乗艇の妨げになるような改造、艀装はしないでください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。
- 荷物を積む際は乗艇位置の足元を塞がないようにしてください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。
- 本製品を使用する際は別売の浮力体(フローテーションバッグ)を使用してください。転覆の際に艇への水の浸入を最小限に抑えることができます。
- 必要に応じて、ヘルメット、グローブ、ウオーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。
- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。
- 泳げない方は使用を控えてください。
- しげの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。
- 本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。本来の性能を発揮できない恐れがあります。

- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。
- 本製品は水上で使用する目的で作られています。その他の目的（雪上など）では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は定員（2名）を守って使用してください。定員以上で乗ると傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。
- 水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。
- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。
- 見知らぬ場所、不確かな場合は事前に調査してください。
- 健康に問題のある方は、本製品の使用を始める前に医師にご相談ください。
- 本製品に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。
- 運搬時以外に本製品のハンドル（グラブ）に手や足を入れしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の下で泳がないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品から水中にジャンプしたり飛び込んだりしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の所有者は本説明書をよく読み、全ての使用者に対して本製品の安全な操作方法について責任を持って指示してください。

**⚠ 注意** 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- 組み立ての際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 組み立ての際は、けがをしないようにご注意ください。本製品は一部鋭利な部分があります。
- 本製品は素材の特性上、折り跡が白化することがありますが性能上問題はありません。
- 艇内に水が入った際は、そのまま持ち上げて排水しないでください。水の重さで本体が破損する恐れがあります。本製品の片面を水面、または地面に置き、少しずつ傾けながら排水します。また荷物が積載された状態で持ち上げると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 可能な限り、水面に浮いた状態で乗り込んでください。岸に上陸、または浜辺から入水する必要がある場合は、底の磨耗を最小限にするために滑らかな砂か泥の場所を選んでください。
- 鋭利なもので引っ掻いたり、鋭利な物の上で引きずったりしないでください。破損する恐れがあります。
- ナイフ、岩などの鋭利なものや、高温になる所や火のそばに近づけないでください。変形や破損する恐れがあります。
- サイドエアチューブに空気を入れる際は付属のポンプを使用してください。絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ボンベ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。
- テンションシステム（船体布を引っ張る機構）の使用方法をよく理解してからご使用ください。間違えますと破損の原因となります。またフレームパイプのジョイント部分が伸びている等、正しく組み立てられていない状態でテンションを掛けると各部が破損する場合がありますのでご注意ください。

## ■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。異常が見られた場合は使用しないでください。

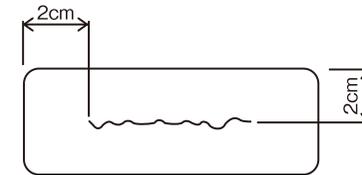
- 付属品などの梱包内容がすべて揃っているか（P.4をご覧ください）
- 船体布、シート、フレームパイプ、バックル等に破損や変形がないか
- Kパイプのバウ側とスターン側のAタンク（虫の翼のような金具）を止めているボルトがゆるんでいないか
- リブチャンネル（三日月型のパーツ）を止めているネジがゆるんでいないか

## ■ 組み立て方法

P.9をご覧ください。

## ■ 船体布の修理方法

- ① リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落としておきます。シンナーは船体布を痛めますので使用しないでください。
- ② 船体布側の接着面を付属のサンドペーパー＃100で研磨して荒らします。その後もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。
- ③ 船体布の穴、亀裂の大きさにあわせて付属のリペアクロスをカットします。大きさは穴、キズに対して+2cm程度を目安にします。角は丸めた方がより剥がれにくくなります。
- ④ リペアクロスの接着面をサンドペーパー＃100で研磨して荒らしてベンジンで油分を取り除きます。

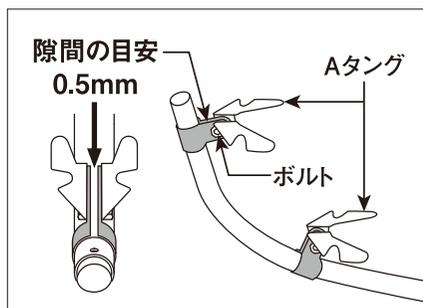


- ⑤ リペアクロスの大きさより5mm程度大きくマスキングテープで囲います。
  - ⑥ 接着剤を船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度まで乾燥させてからさらにもう一度、均一に塗布します。
  - ⑦ 手にべとつかない程度まで乾燥させてから強く貼りあわせませす。ゴムハンマー等で軽くたたくとより効果的です。
  - ⑧ 接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させてください。圧着し終えてからマスキングテープをはがします。
- ※ 接着剤は必ず付属の接着剤またはモンベルストアで販売のリペアボンドを使用してください。それ以外の接着剤では必要な強度が得られません。
- ※ 屋外で作業をする場合、船体布の温度の上がない日陰での作業をおすすめします。接着剤の温度が上がりすぎるとすぐに乾いてしまい作業しにくくなります。

## ■ お手入れ方法

間違っただお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。  
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は水洗いをして泥などを落として完全に乾燥させてください。特に海水で使用した後は、清潔な水で本製品を洗ってください。
- カヌー本体とサイドエアチューブの間に水が溜まる場合があります。排水するには組み立てた本製品を5分から10分の間、スターン側を下にして垂直に立てかけてください。その際、スターンエンドカバーは予め取り外してください。
- 海水で使用し長期間、組み立てたままにしておくと塩分が結晶化してジョイント部分等が固着する恐れがありますので、ご使用前にジョイント部分や可動部分にあらかじめ防錆潤滑剤(CRC6-66等)を塗布し、使用し続ける場合は2週間に1度は分解しフレーム、リブ全体を真水で十分に水洗いをして塩分を取り除いてください。収納する際は十分に乾燥させてから防錆潤滑剤(CRC6-66等)をショックコードにかからないように塗布して収納してください。
- フレーム、リブの不自然な曲がりや変形は、漕行性能が低下し、艇全体の強度に影響を及ぼす場合があります。特にへこみを伴う曲がりや変形は危険な状態です。すぐに交換修理してください。  
※組み立て時の曲げ半径の小さいフレーム(E、G、KS)には、全体に緩い曲がりが残ることがあります。部分的な大きい変形やへこみを伴う曲がりであれば使用上問題ありません。
- Kパイプのバウ側とスターン側のAタング(虫の翼のような金具)を止めているボルトがゆるんでないか時々確認してください。ゆるんでいたら増し締めをします。  
金具の隙間は0.5mm位が適正です(右図参照)。



- リブチャンネル(三日月型のパーツ)を止めているネジがゆるんでいないか時々確認してください。ゆるんでいたら増し締めをします。またフレームがはずれやすいのはリブチャンネルの内側が摩耗していることが原因です。痛んでいたら交換してください。
- 船体布の汚れは、スポンジやブラシ等で水洗いします。スチールたわし等は船体布が傷つきますので使用しないようにしてください。またシンナー等の溶剤は船体布を侵しますので使用しないようにしてください。洗浄後は十分に乾燥させてから収納してください。乾燥が不十分な場合カビが発生する恐れがあります。また船体布にシリコンが含まれる保護艶出し剤を塗布すると修理用接着剤が接着できなくなりますので使用しないようにしてください。
- テンションテープカバーはテンションテープ本体の摩耗を防いでいます。痛んできたら早めに交換してください。
- 市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、船体布にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと船体布を傷め場合によっては修理不可能になる場合がありますのでご注意ください。
- 重大な破損や穴がある場合は使用を中止し、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

## ■ 保管方法

- 雨露、粉塵、直射日光、紫外線、塩害を受けず高温多湿ではない、風通しの良い乾燥した場所で保管してください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形、破損する恐れがあります。

## ■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

## ■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違っただお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

## ■ 仕様・サイズ

品番	2341038
品名	ユーコン400T
全長	約400cm
全幅	約93cm
収納サイズ	約95×40×36cm
最大積載量	240kg

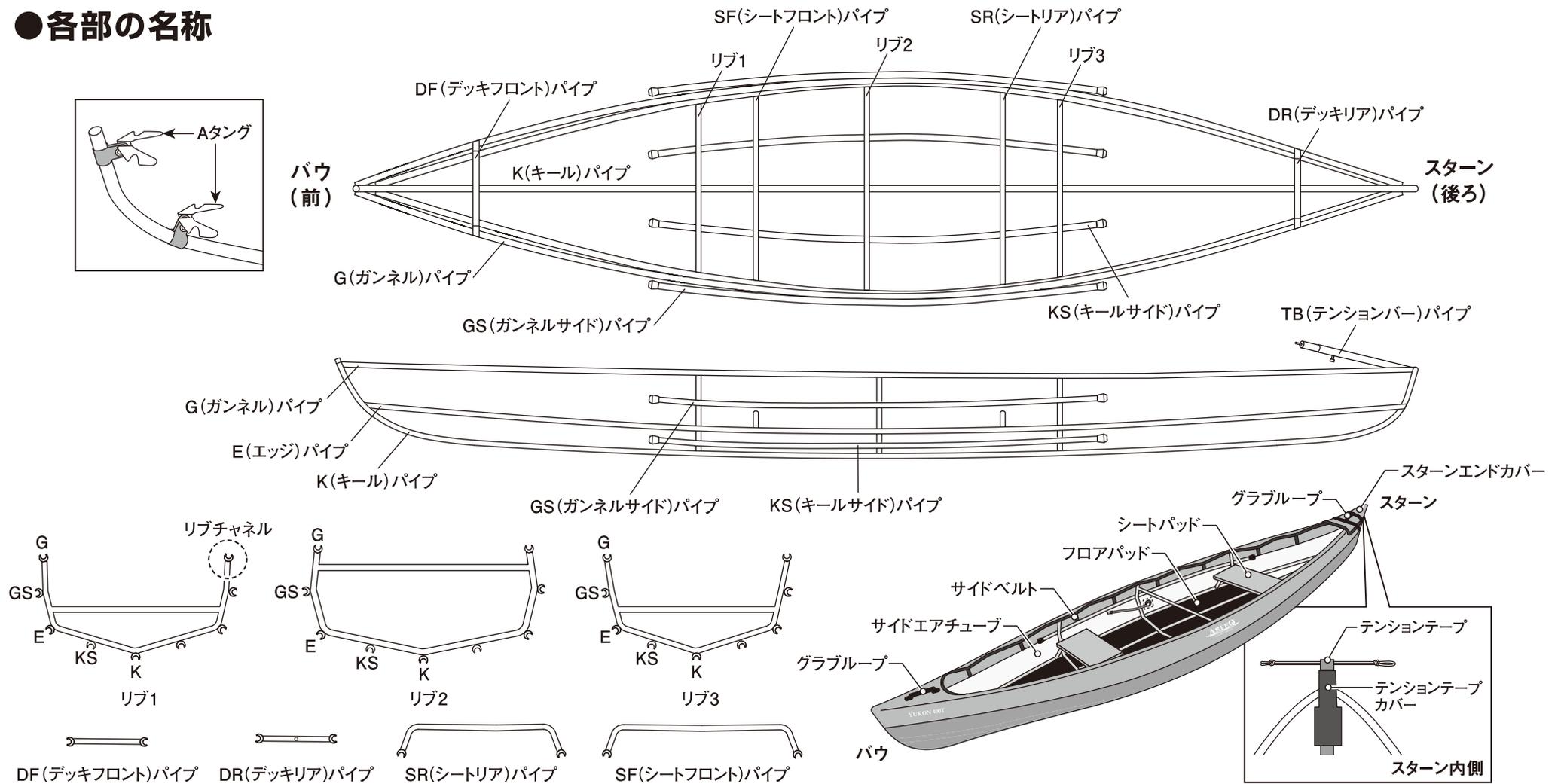
## ■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

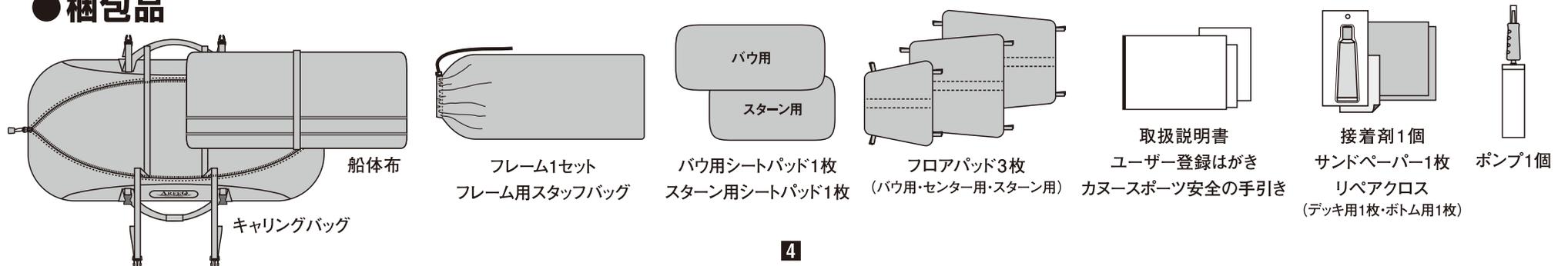
株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 モンベルホームページ <https://www.montbell.jp/>  
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで Tel. 06-6531-3544 フリーコール: 0088-22-0031

44-3869-2412

## ●各部の名称



## ●梱包品





## User's Manual

# Yukon 400T

## Yukon 400T

Thank you for purchasing this product. Before using, please carefully read this manual for instructions on the proper care and usage of this product.

If you have any questions regarding this product, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase. Keep this manual for future reference.

### ■ Description

A foldable Canadian canoe designed for use on lakes and rivers with gentle currents. Featuring a wide, stable hull, it combines straight-line stability and maneuverability thanks to its unique bottom shape. This versatile vessel allows for easy enjoyment of an open deck style, whether for two-person touring or solo camping adventures.

- Please read carefully ..... 5~7
- Components, accessories ..... 8
- Assembling ..... 9~20
- Disassembling and packing ..... 21
- Repair and component list ..... 22

### ■ Safety Warnings Please read carefully.

**! DANGER!** Under certain conditions, use of this product can result in major injury or death.

- Kayaking and canoeing (paddle sports) are inherently dangerous activities. Even if this product is used, cared for, and stored correctly, it will not completely eliminate the risk of major injury or death. You are responsible for your own actions and decisions. Montbell Co., Ltd. is not liable for damages or accidents resulting in injury or death due to improper usage.
- Do NOT use this product for aggressive water sports.
- Do NOT apply strong impact and/or go near sharp rocks.
- Do NOT consume alcohol, drugs, or any other substance that may affect your judgement and paddling ability.
- Always wear a life jacket (PFD).
- Obtain certified first-aid and rescue training, and always carry first-aid and rescue equipment.
- Do NOT exceed your paddling ability.
- This product is designed for use on lakes or rivers with gentle currents. Do NOT use it in areas with rapid currents.
- Sudden weather changes may cause strong wind gusts on the water. This product relies solely on human power. Use it safely without exceeding your paddling ability.
- Do NOT use this product in shallow water areas where the bottom may touch or under adverse weather conditions. May result in injury or damage to the product.

**! Warnings!** Under certain conditions, use of this product can result in injury, death, or property damage.

- Do NOT use this product when punctured causing air leaks.
- Always follow the user's manual for assembly. Improper assembly may impair the structural strength and damage the product.
- Do NOT modify or alter this product. Improper modifications and alterations can damage the product, impair functionality, and cause difficulty when escaping. Only outfit compatible products.
- Do NOT excessively load near the cockpit or block the foot area. May hinder escape in the event of capsizing.
- Use flotation bags (sold separately) with the product. When capsized, the bags help minimize water from entering.
- Wear protective items such as helmets, gloves, and water shoes as necessary. Not wearing these items increases the risk of injury.
- Prior to use, practice paddling on a safe open water to familiarize yourself with the product and its features.
- This product is designed for recreational use only. Do NOT operate as a rescue boat.
- Do NOT use this product if you are unable to swim.
- Always stay aware of tidal and weather changes. Scout unfamiliar waters and get paddle sport instructions from an experienced instructor/guide.
- Do NOT exceed maximum weight capacity. May hinder the product's performance.

- When children use the product, parents or guardians must read the user's manual thoroughly and educate the children prior to use. Do NOT allow children to use the product without adult supervision or to paddle alone.
- This product is designed for use on open water. Do NOT use this product for any other activity for which it is not designed.
- Do NOT exceed the seating capacity of 2 persons. Exceeding this capacity may result in injury, accidents, or damage.
- Use this product only on safe open water.
- Do NOT tow this product with motorized crafts.
- Prior to use, attend paddling classes (instructions) to familiarize yourself with the product.
- Dress appropriately for weather conditions; cold water and/or weather may result in hypothermia.
- Prior to use, check for any signs of abrasion, cracks, and/or damage.
- Before paddling, scout unfamiliar/uncertain waters.
- Prior to use, always consult with a physician if you have certain health issues.
- When loading luggage, consider an appropriate balance and amount that do not compromise the stability and maneuverability of the product.
- Do NOT slip your hand or leg in the handle (grab loop). Use it only for transporting the product.
- Do NOT swim under the product.
- Do NOT jump and/or dive into the water from the product.
- Prior to use, any person using this product should read the user's manual thoroughly and then educate others.

**⚠ Attention** Under certain conditions, use of this product can result in injury or property damage.

- Please follow recommended care and storage instructions.
- Be careful of pinching your fingers when assembling.
- This product has sharp edges. Be careful not to cut and/or injure yourself when assembling.
- Fold lines may appear on this product. However, this has no effect on the product's performance.
- When emptying water out of the product, do NOT lift it directly, as this may damage it. Place one side of the product on water or ground and gradually tilt to empty water. Do NOT lift the product when loaded.
- Boarding the product on safe open water is recommended. When boarding it from ground into water, choose places surrounded by sand or dirt to minimize abrasion.
- Do NOT drag or slide the product near sharp objects.
- To prevent deforming and damage, do NOT store near sharp items and/or heat sources.
- Do NOT use air compressor, CO2 inflator, and/or high-pressure compressed air to inflate.
- Prior to use, fully understand the features of the tension system (a system to tension the fabric cover). Applying tension on misassembled frames may damage the joint, frame pipes, and craft.

**■ Prior to use, inspect this product for:** Stop using immediately if you notice any irregularities.

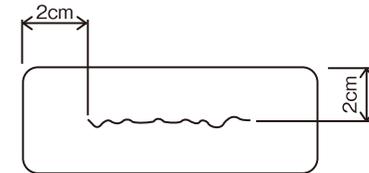
- Any missing assembly components (See P.8)
- Damage or deformation on fabric cover, seats, frame pipes, and buckles
- Loose bolt on A-shaped tongues (K pipe's bow and stern)
- Loose screws on rib channels (crescent-shaped parts)

**■ Directions**

**● For assembling instructions, go to P.9**

**■ Fabric cover repair**

- ① Use solvent (benzine) and a clean cloth to remove any debris, dirt or oil. Make sure to dry thoroughly. To prevent product's fabric damage, do NOT use paint thinner.
- ② Use sandpaper #100 to rough up the surface to be patched. Then, use solvent (benzine) and a clean cloth to remove any debris, dirt or oil.
- ③ Carefully, cut repair patch to size product's fabric tear/rip. Patch size should be at least 2cm larger than the fabric tear/rip in all directions.
- ④ To reduce the risk of peeling, cut square patches with rounded corners. Use sandpaper #100 to rough up the back surface the patch. Then, use solvent (benzine) and a clean cloth to remove any debris, dirt or oil.



- ⑤ To prevent excessive gluing, apply masking tape (5mm larger than the repair sheet) around the repair area.
- ⑥ Apply a thin and even layer of glue to the repair area. Allow glue to dry for approximately 1 to 2 min. Then, reapply an even layer of glue again.
- ⑦ After drying, carefully apply the patch to the repair area using very firm pressure. For best result, use a rubber hammer.
- ⑧ After applying the patch, allow to dry for at least 12 hours. Allow to dry at least 30 min in times of emergency. Remove masking tape after pressing.

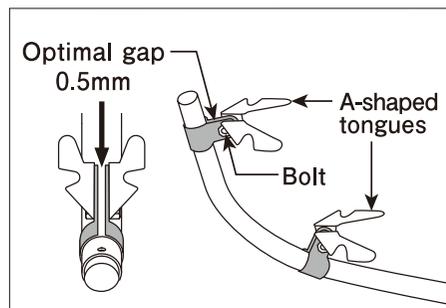
\*Use ONLY included glue or the Repair Bond (sold separately).

\*When working outside, do NOT repair directly under the sun. May impair proper curing of adhesives.

## ■ Care

Improper care and storage can shorten product lifespan. Follow the recommendations below to extend the lifespan of the product.

- After use, wash dirt, stain, and/or salt with water and dry thoroughly.
- Water tends to remain between the main body and the side air tube. To empty water, make the assembled boat stand vertically and let it sit for 5 to 10 minutes.  
To empty water, make the assembled product stand vertically and let it sit for 5 to 10 minutes.
- After use at the sea, if assembled for a long period of time, salt can damage the frame joints. Apply corrosion inhibitor (e.g. CRC6-66) around the joints prior to use, disassemble the frame once every two weeks, and wash thoroughly with water to remove salt from the frames. Before storing, dry thoroughly and reapply corrosion inhibitor. Do NOT spray on the shock cords.
- Frame and rib dents/damage may hinder paddling abilities and impair the product's strength/durability. Stop using immediately and replacing the part is recommended.  
\* Pipes with smaller bend radii (E, G, KS) may retain a slight overall bend after assembly. This does not affect the product's performance as long as there are no large deformations or dents.
- Periodically check that the bolts securing the A-shaped tongues (wing-like parts located on both bow and stern sides of the K pipe) are not loose. If loose, tighten them. The proper gap for these A-shaped tongues should be approximately 0.5mm (see figure below).



- Make sure the screws on the rib channels are not loose. If loose, tighten them. If the frame doesn't install properly, replacing the channel is recommended.
- Wash fabric cover with water and sponge/brush. Do NOT use metal scrubbers and paint thinner. Molding may occur if stored while wet. Dry thoroughly before storing. Do NOT apply silicone polishing agent for it may affect the adhesive performance when repairing.
- Tension strap cover is designed to protect the tension strap from abrasion. Replace when damaged or worn.
- Do NOT use packing tape for repairing. When taped for an extended period of time, the adhesive substance on the tape may damage the product's fabric. Also, do NOT forcibly remove the tape at all times.
- Stop using immediately when you notice any irregularities or damage on the product. Please contact Montbell Customer Service for assistance.

## ■ Storage

- When storing for an extended period of time, store in a well-ventilated, cool, dry place out of direct sunlight and dust.
- To prevent deforming and damage, do NOT store near heat sources.

## ■ Disposal

- Please follow local regulations regarding waste disposal.

## ■ Warranty

Montbell's warranty covers all defects in materials and workmanship to the original owner, for the lifetime of the product. If a product ever fails due to a manufacturing defect, Montbell will repair or replace the product at Montbell's discretion. This warranty does not cover damage(s) caused by accident, improper care, negligence, misuse, alterations or normal wear and tear. Damage(s) not covered under warranty will be repaired at a reasonable rate. If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.

## ■ Specifications

Style#	: 2341038
Name	: Yukon 400T
Length	: 400cm
Width	: 93cm
Pack size	: 95×40×36cm
Weight limit	: 240kg

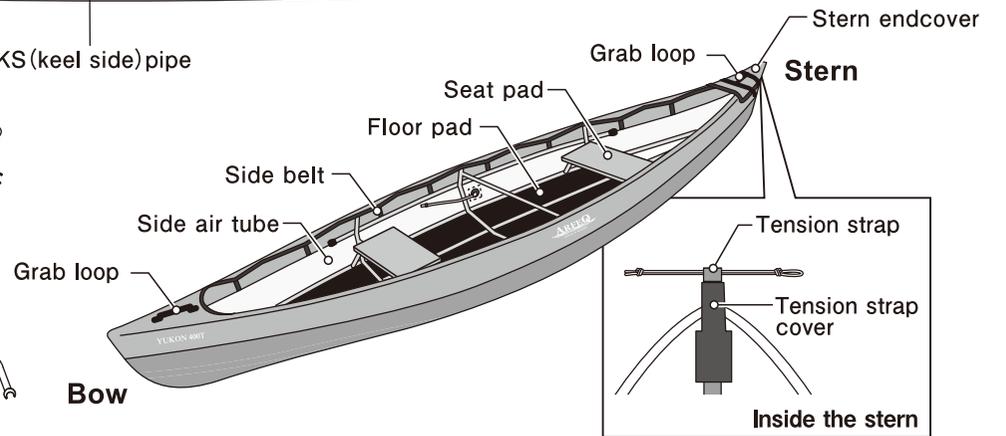
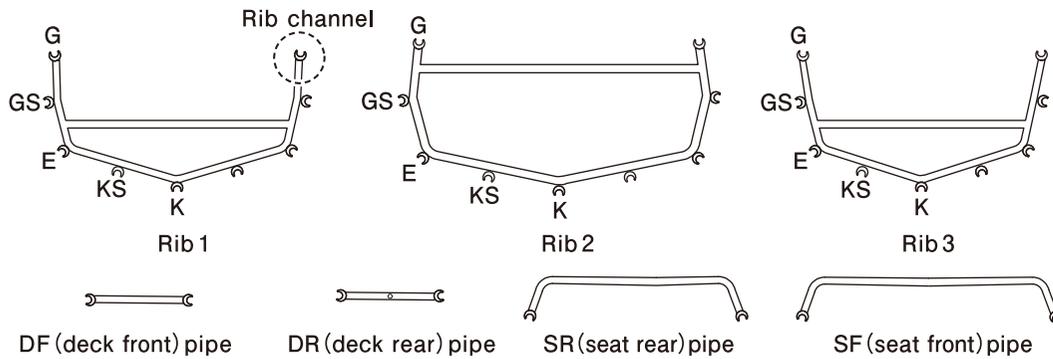
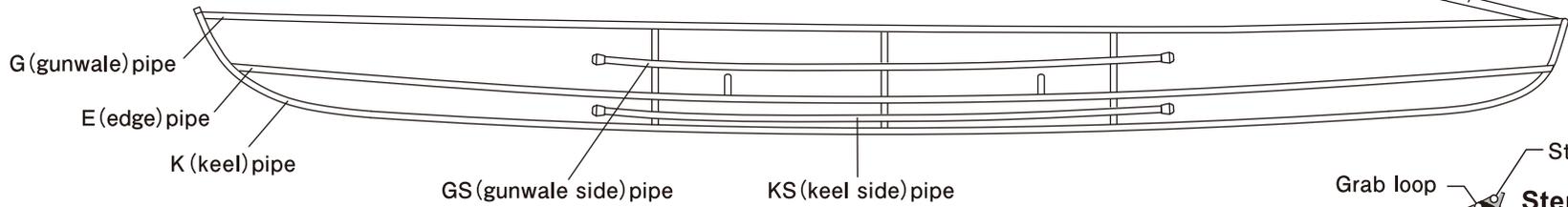
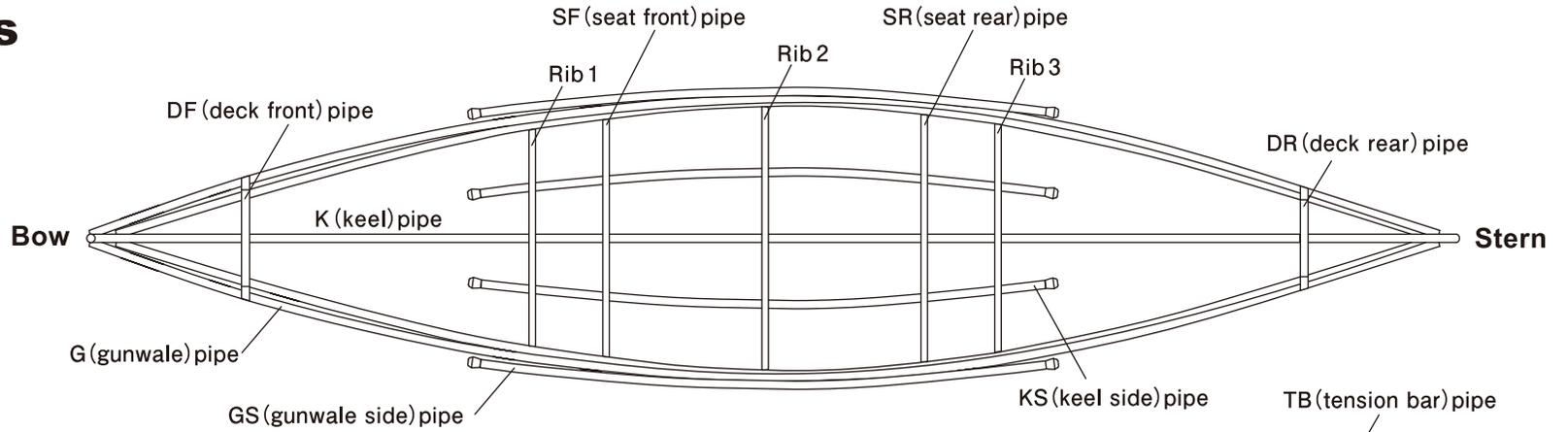
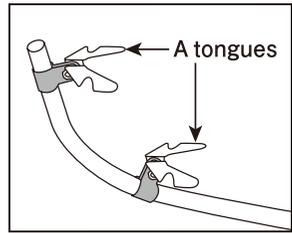
All product specifications and design are subject to change without prior notice. Actual product specifications may vary.

**mont-bell Co.,Ltd.**

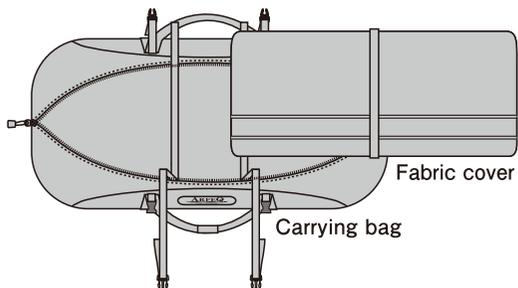
2-2-2 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0013 JAPAN  
<https://www.montbell.com/>

44-3869-2412

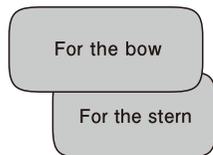
# Components



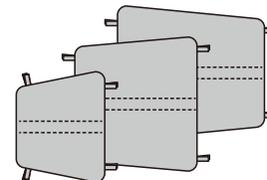
# Accessories



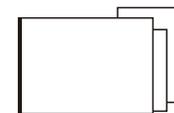
1 x frame set  
Stuff sack for frame set



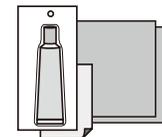
1 x seat pad for bow  
1 x seat pad for stern



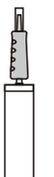
3 x floor pad  
(for bow, center, and stern)



User's manual  
User registration postcard  
Canoe sports safety guidebook



1 x adhesive  
1 x sandpaper  
Repair patches  
(one for deck, one for bottom)



1 x pump

## ● 組み立て方法 Assembling

組み立てが完成した艇の船体布には強いテンションがかかります。このことにより船体布が伸びて、よりフレームになじみ易くなります。組み立てた状態で1日程度放置することで、2回目以降の組み立てがより簡単に正確になります。

※組み立てが正確にできていないと歪みのついた船体布になってしまいます。手順にそって正確に組み立ててください。

When the boat is assembled for the first time, strong tension is applied to the fabric cover, causing it to stretch to fit the frame.  
By leaving the product assembled for about a day, the fabric cover conforms better to the frame, making future assemblies easier and more precise.  
\* If not assembled correctly, the fabric cover may become distorted. Make sure to follow the instructions for accurate assembling.

### (1) 梱包内容の確認 Checking components

付属品などの梱包内容が揃っているか確認してください。(P.4参照)  
Check whether all components and packaging contents are complete. (See P.8)

### (2) フレームの組み立て Assembling the frame

#### ① 各パイプをつなぐ Connect each pipes

パイプをやや斜めにするとなぎやすくなります。(外すときも同様)  
Always connect/disconnect pipes in a tilted angle. Connecting the pipes horizontally makes it difficult.



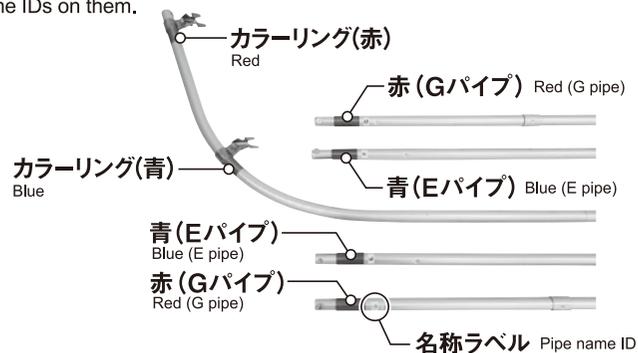
#### ② 各パイプを並べる Place pipes on the ground in order

各パイプの名称ラベルとカラーリングが付いている方がバウ側(前)です。

※GSパイプ・KSパイプには名称ラベルのみが付いています。

The pipe ends marked with name and color IDs should face the bow (forward).

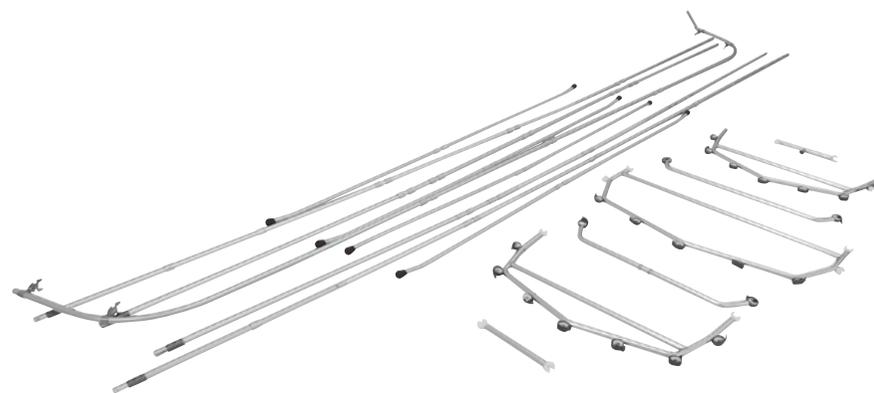
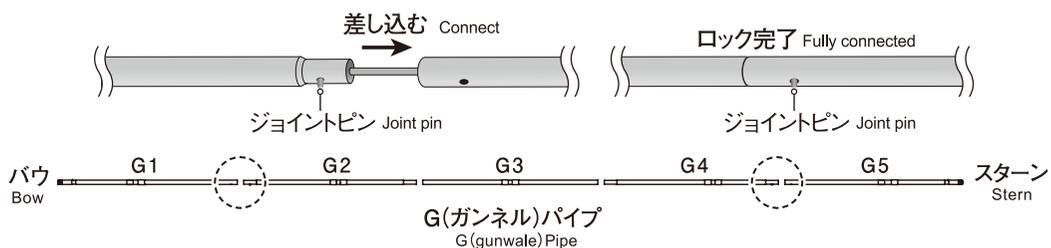
\* The GS and KS pipes only have their name IDs on them.



### 注意 CAUTION

赤いリングがついたG(ガンネル)パイプのG1とG2、G4とG5の間のつなぎ目に、伸び止めのためのジョイントピンがあります。組み立ての際はパイプを奥まで差し込み、ジョイントピンで固定してください。

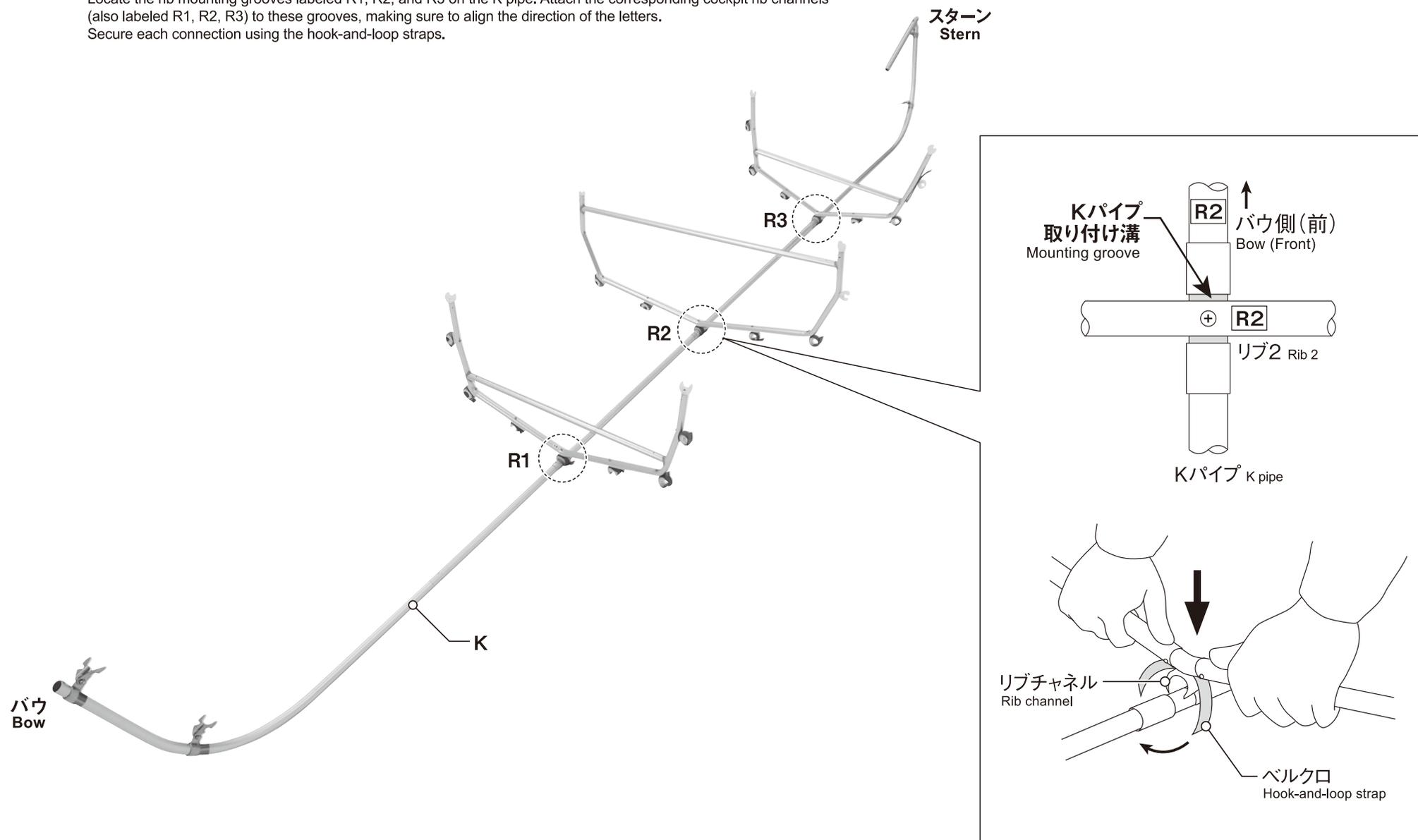
The G (gunwale) pipes (marked red) feature joint pins between G1 and G2, and between G4 and G5. Ensure that each pipe is fully inserted into the next pipe, and secure them with the joint pins.



### (3) Kパイプにリブ1～3を取り付ける Attaching the cockpit ribs to the K pipe

Kパイプの各リブの取り付け溝にあるステッカーR1～3とリブにあるステッカーR1～3の番号の向きを合わせてリブチャンネルを取り付けベルクロで固定します。

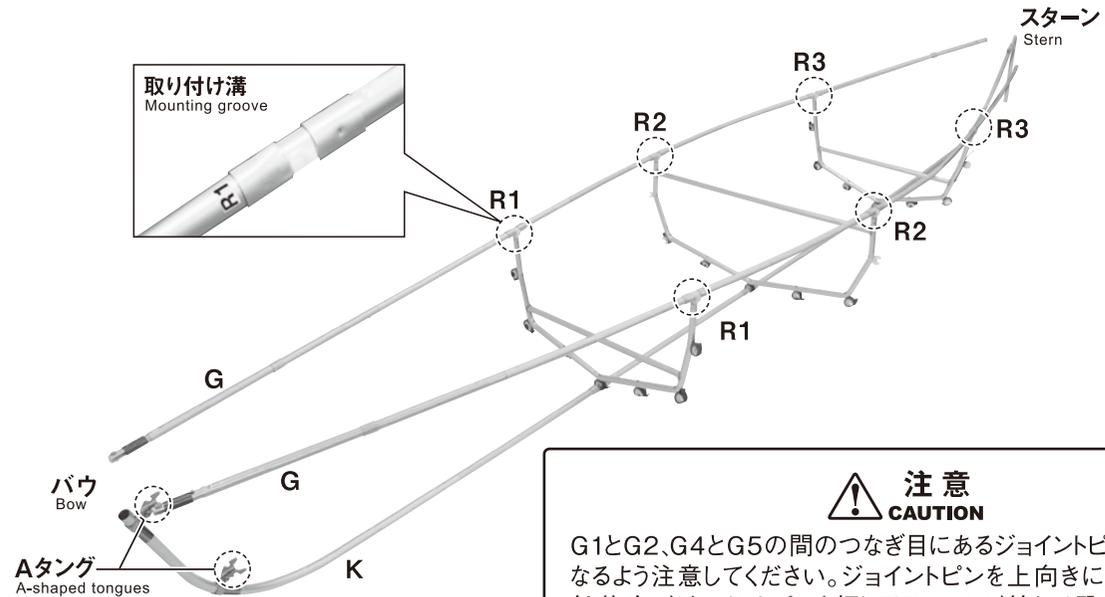
Locate the rib mounting grooves labeled R1, R2, and R3 on the K pipe. Attach the corresponding cockpit rib channels (also labeled R1, R2, R3) to these grooves, making sure to align the direction of the letters. Secure each connection using the hook-and-loop straps.



#### (4) Gパイプの取り付け Attaching the G pipes

Gパイプの前後(名称ラベルと赤いカラーリングが付いている方が前)を間違えないように注意し、Gパイプの取り付け溝にR1～3のリブチャネル(三日月型のパーツ)を取り付けます。

Place the G pipes with their name and color IDs facing the bow (forward), and connect the mounting grooves labeled R1-3 on the G pipes to the corresponding cockpit rib channels (crescent-shaped parts).



**注意**  
**CAUTION**

Gパイプは跳ね返る力が強いので足などに当たらないように十分注意してください。

The G pipes have a strong recoiling force. Be careful to avoid injury when attaching the pipes.



**注意**  
**CAUTION**

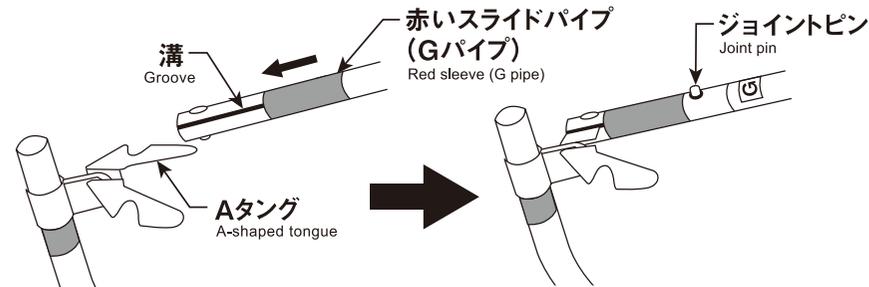
G1とG2、G4とG5の間のつなぎ目にあるジョイントピンが下向きになるよう注意してください。ジョイントピンを上向きに組み立てると船体布がジョイントピンを押してフレームが外れる恐れがあります。

Ensure that the joint pins between G1 and G2, and G4 and G5 are facing downward. When facing upward, the fabric cover may push the joint pins, causing the G pipes to be disconnected.



Gパイプ先端にAタングを取り付けます。Gパイプ先端の溝にAタングがはまるようにしてください。取り付け後、赤いスライドパイプをスライドさせてジョイント部を固定します。カチッと音がしてGパイプからジョイントピンが出て固定されていることを確認してください。

Insert the A-shaped tongues on the K pipe into the grooves at the tip of the G pipes. Then, slide the red sleeves over the joint sections until they click into place and the joint pins protrude.



**注意**  
**CAUTION**

差し込む際に指を挟まないようにご注意ください。

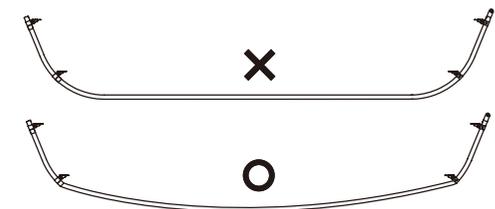
Be careful not to pinch your fingers when connecting pipes.



**注意**  
**CAUTION**

Kパイプを膝にのせるなどして適度な反りがついた状態でGパイプ先端を取り付けてください。Kパイプが地面にぴったり付いた状態で取り付けると設計上長さが足りなくなるため、Gパイプ接続部を途中から伸ばす原因となり、その結果フレーム全長が長くなってしまいます。ジョイント部分がずれている場合は、Kパイプを上下させて合わせてください。

Attach the G pipe tip to the K pipe while the K pipe is slightly curved. Place your knee or another support underneath the K pipe to make the curve. When attaching the G pipe tip while the K pipe is straight on the ground, the G pipe will lack sufficient length. This can weaken the joints and lead to an improper frame shape. Adjust the joints by moving the K pipe up and down when not properly connected.



## (5) Eパイプの取り付け Attaching the E pipes

Gパイプと同様に、Eパイプの取り付け溝にR1~3のリブチャンネル(三日月型のパーツ)を取り付けベルクロで固定します。

Similar to the G pipe setup, connect the mounting grooves labeled R1-3 on the E pipes to the corresponding cockpit rib channels (crescent-shaped parts) and secure with the hook-and-loop straps.

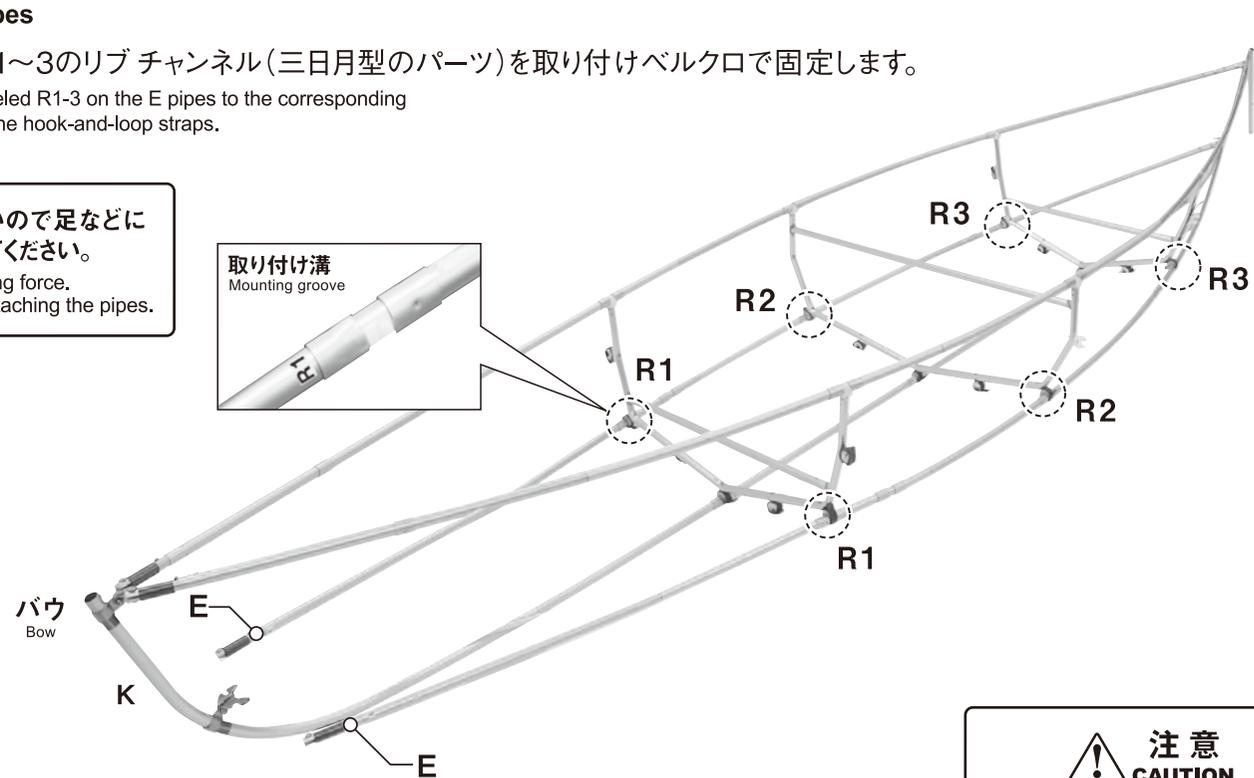
スターン  
Stern



**注意**  
**CAUTION**

Eパイプは跳ね返る力が強いので足などに当たらないように十分注意してください。  
The E pipes have a strong recoiling force. Be careful to avoid injury when attaching the pipes.

取り付け溝  
Mounting groove

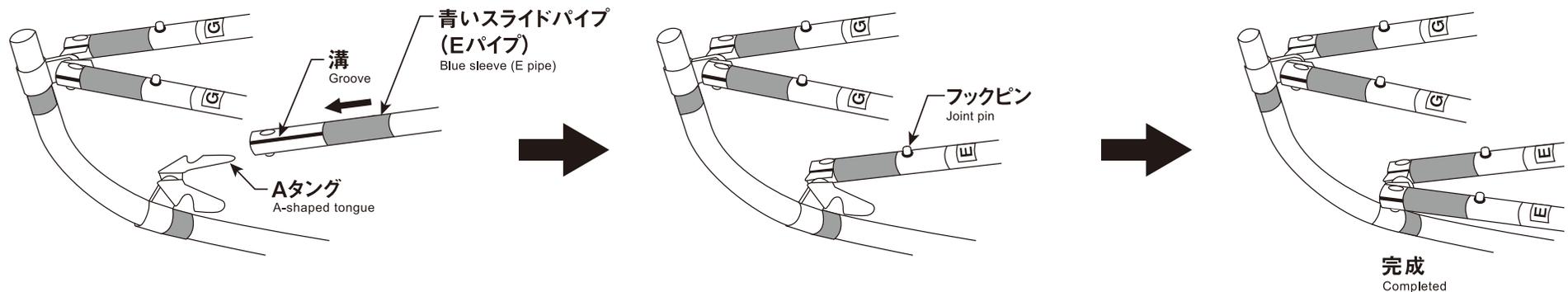


**注意**  
**CAUTION**

差し込む際に指を挟まないようにご注意ください。  
Be careful not to pinch your fingers when connecting pipes.

Gパイプと同様に、Eパイプ先端にAタングを取り付けます。Eパイプ先端の溝にAタングがはまるようにしてください。取り付け後、青いスライドパイプをスライドさせてジョイント部を固定します。カチッと音がしてEパイプからフックピンが出て固定されていることを確認してください。

Similar to the G pipe setup, insert the A-shaped tongues on the K pipe into the grooves at the tip of the E pipes. Then, slide the blue sleeves over the joint sections until they click into place and the joint pins protrude.



## (6) GSパイプ・KSパイプの取り付け Attaching the GS and KS pipes

GSパイプの前後(名称ラベルが付いているほうが前)を間違えないように注意し、GSパイプの取り付け溝にR2のリブチャンネル(三日月型のパーツ)を取り付けます(R2のGSパイプ取り付け用リブチャンネルにはベルクロは付いていません)。次にR1・R3のリブチャンネルを取り付け、ベルクロで固定します。

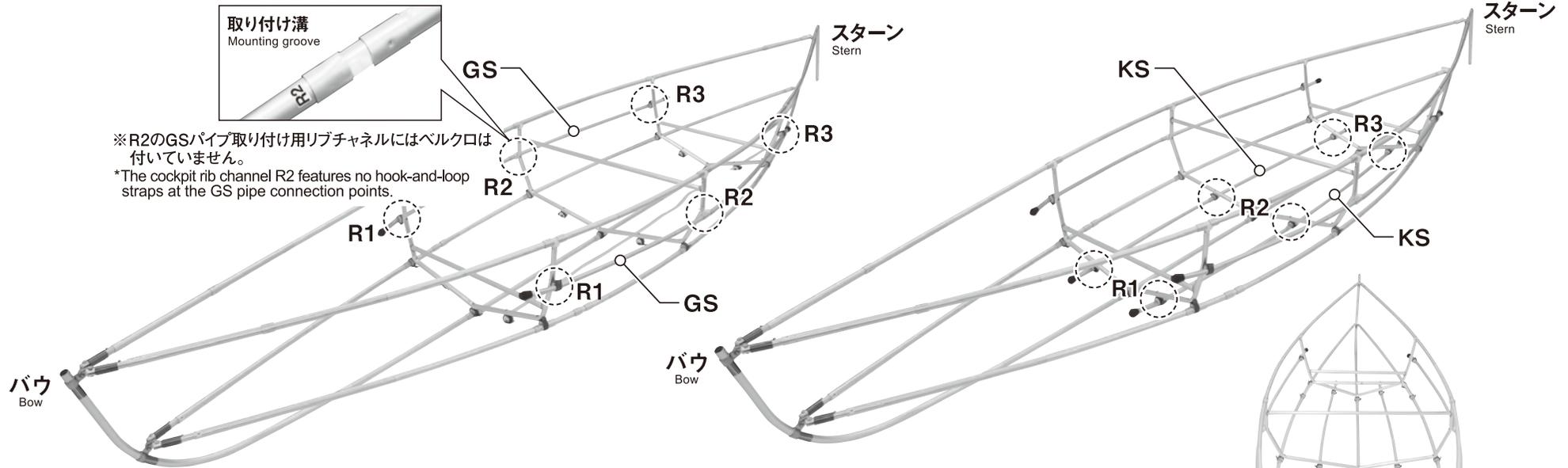
同様の手順でKSパイプを取り付けます(R2のKSパイプ取り付け用リブチャンネルにはベルクロは付いています)。

Place the GS pipes with their name IDs facing the bow (forward). Connect the mounting grooves labeled R2 first, then R1 and R3 to the corresponding cockpit rib channels (crescent-shaped parts). Secure R1 and R3 connections using the hook-and-loop straps (note: the cockpit rib channel R2 features no hook-and-loop straps at the GS pipe connection points). Attach the KS pipes in the same manner (note: hook-and-loop straps are available at all three KS pipe connection points).



GSパイプは跳ね返る力が強いので足などに当たらないように十分注意してください。

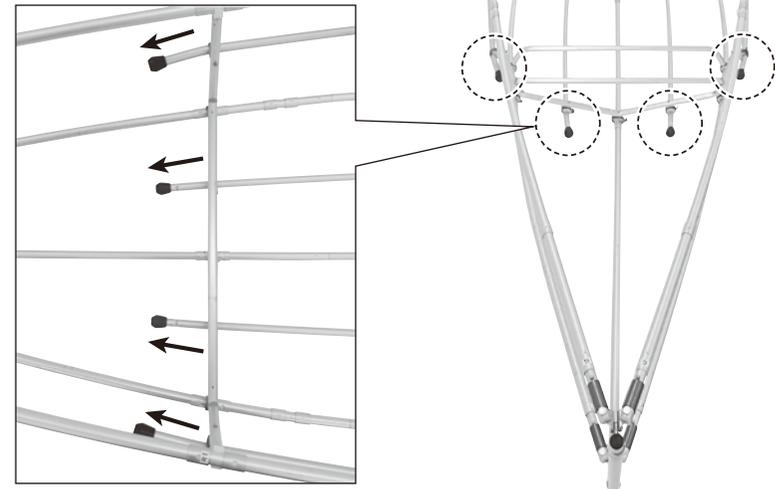
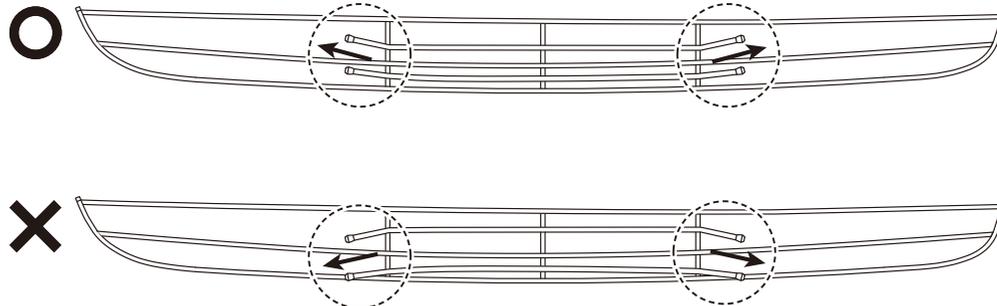
The GS pipes have a strong recoiling force. Be careful to avoid injury when attaching the pipes.



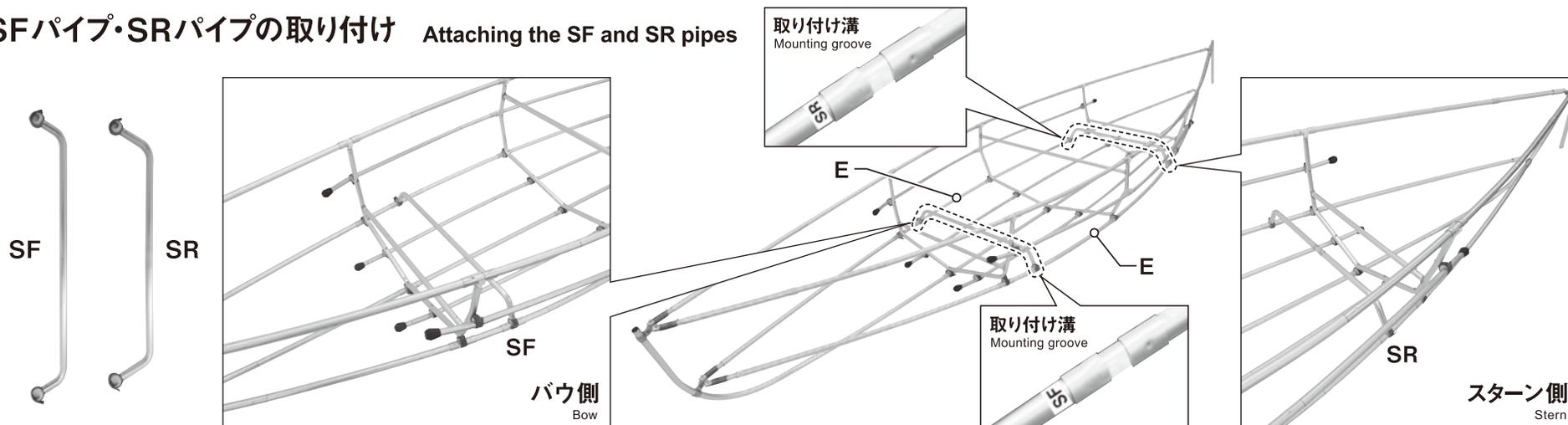
※R2のGSパイプ取り付け用リブチャンネルにはベルクロは付いていません。  
\*The cockpit rib channel R2 features no hook-and-loop straps at the GS pipe connection points.

この時、GSパイプ・KSパイプの曲がっている方(ゴムキャップ)が艇の内側を向くように注意してください。

Ensure that the bent sections (rubber capped) of the GS and KS pipes are facing inward towards the interior of the boat.



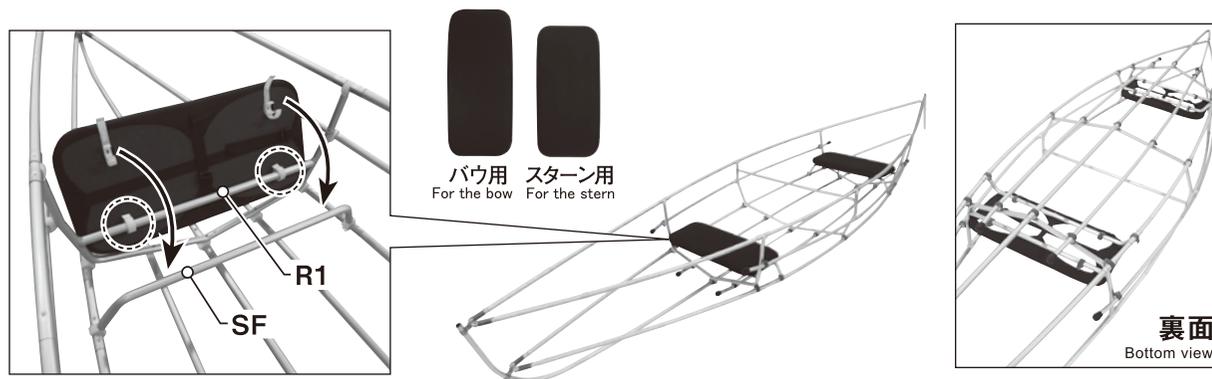
## (7) SFパイプ・SRパイプの取り付け Attaching the SF and SR pipes



Eパイプの取り付け溝にSFパイプ・SRパイプのリブチャネル(三日月型のパーツ)を取り付け、ベルクロで固定します。この時、SFパイプ(長い方)がバウ側、SRパイプ(短い方)がスターン側になるよう注意してください。

Connect the mounting grooves labeled SF and SR on the E pipes to the corresponding SF and SR rib channels (crescent-shaped parts) and secure each connection using the hook-and-loop straps.

## (8) シートパッドの取り付け方法 Installing the seat pads



長いシートパッドがバウ用、短いシートパッドがスターン用です。バウ用シートパッド裏面のリブチャネル(三日月型のパーツ)をR1とSFパイプに取り付け、ベルクロで固定します。同様にスターン用シートパッドをR3とSRパイプに取り付けます。シートパッド取り付け後に裏返してすべてのリブチャネルがベルクロでしっかりと固定されているか確認してください。

The long seat pad is for the bow, and the short one for the stern. Attach the rib channels (crescent-shaped parts) on the back side of the bow seat pad to the R1 and SF pipes and secure them with hook-and-loop straps. Similarly, attach the stern seat pad to the R3 and SR pipes. After attaching the seat pads, turn the frame over and check if all the rib channels are secured.

### 一人乗りのシートアレンジ Seating arrangement for one-person use

**荷物を積載する場合 With touring gear**

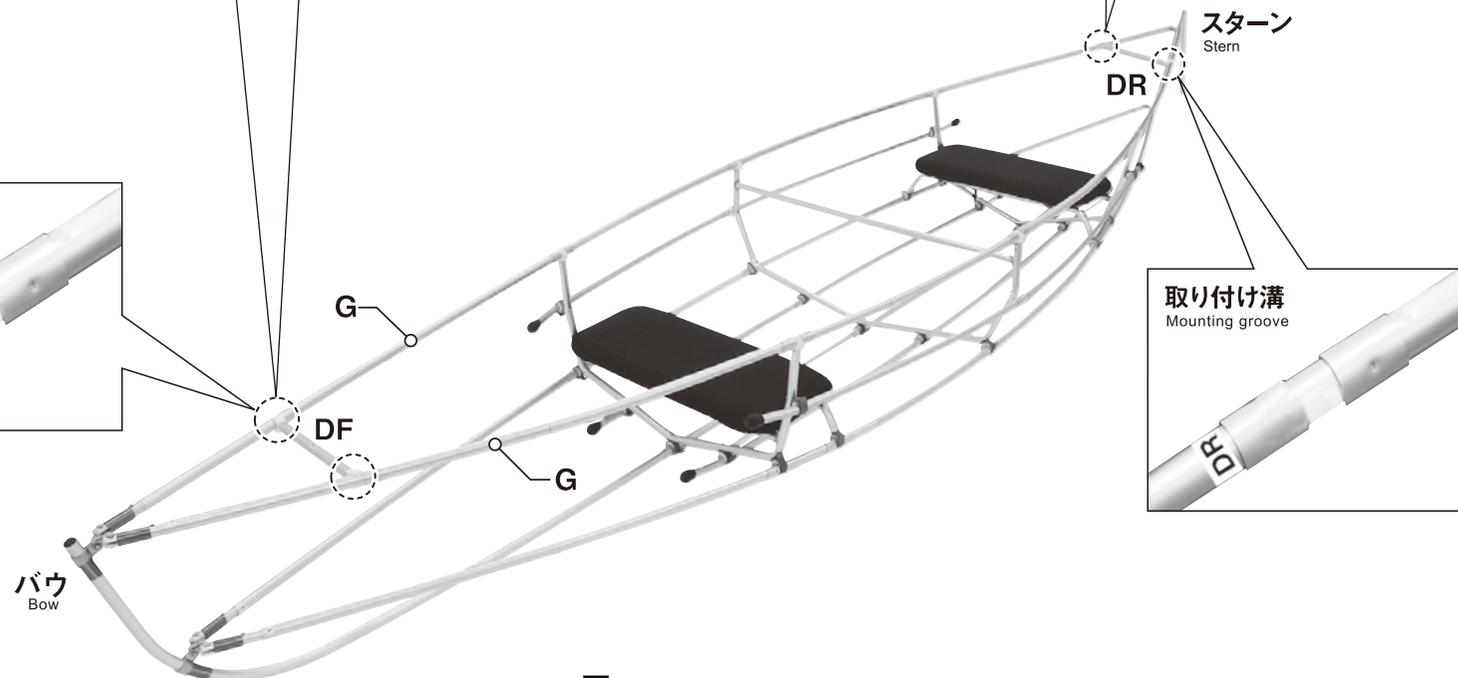
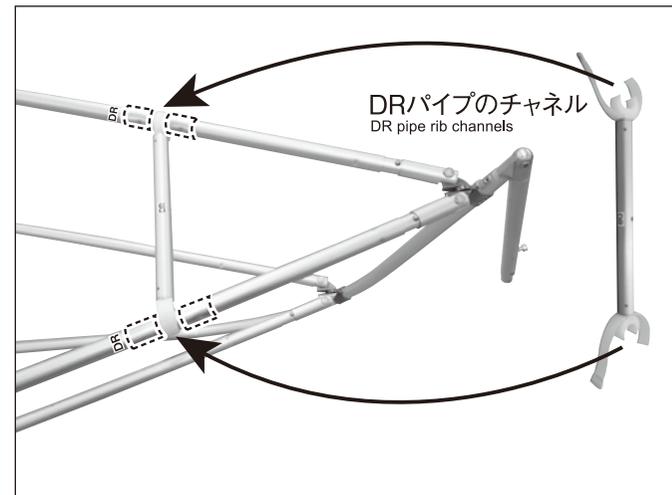
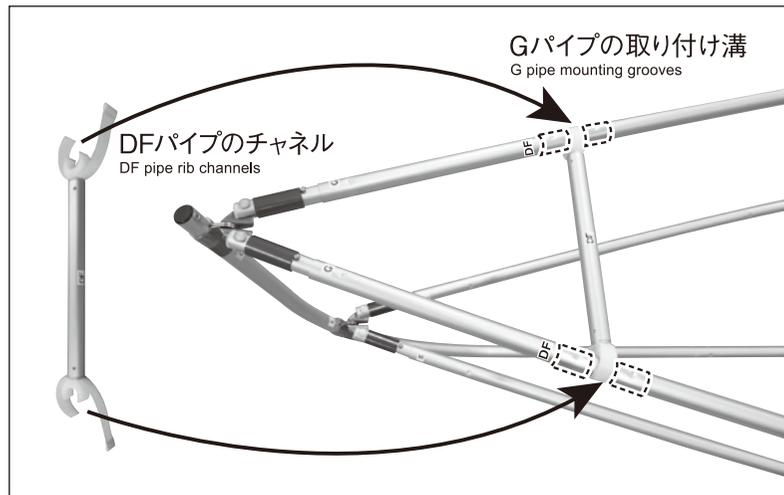
**荷物を積載しない場合 Without touring gear**

- ・バウ側に荷物を積載する場合はSRパイプとスターン用シートパッドのみを取り付けます。
- ・荷物を積載しない場合は、SFパイプとバウ用シートパッドのみを取り付け、前後逆向きに漕ぐことでバウ(本来のスターン)の浮き上がりを軽減できます。
- ・When loading gear on the bow side, attach only the SR pipe and the stern seat pad.
- ・When not loading, attach only the SF pipe and the bow seat pad, and paddle in reverse. This way, you can prevent the bow (original stern) from lifting.

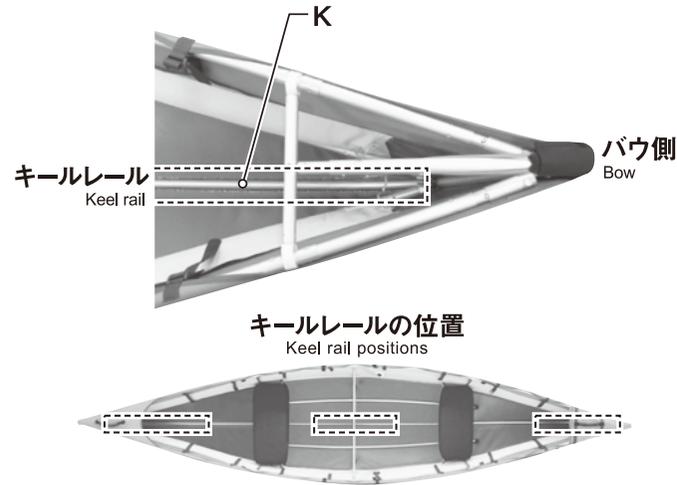
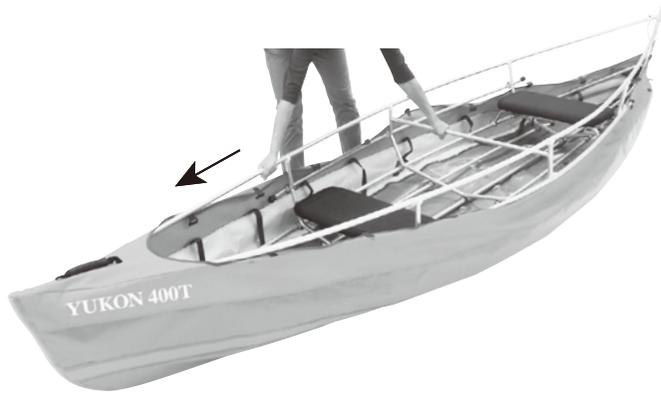
## (9) DFパイプ・DRパイプの取り付け Attaching the DF and DR pipes

DFパイプ・DRパイプのリブチャンネル(三日月型のパーツ)をGパイプ前方・後方にあるパイプの取り付け溝に取り付け、ベルクロで固定します。

Attach the rib channels (crescent-shaped parts) on the DF and DR pipes to the front and rear mounting grooves on the G pipes, and secure each connection with hook-and-loop straps.

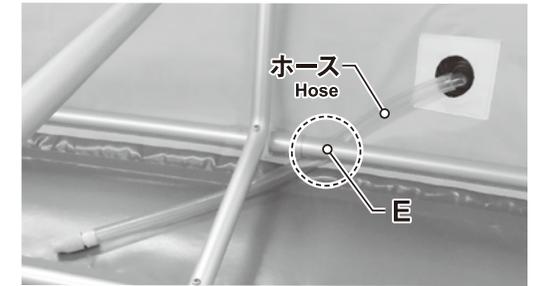


## (10) 船体布にフレームを入れる Installing the fabric cover

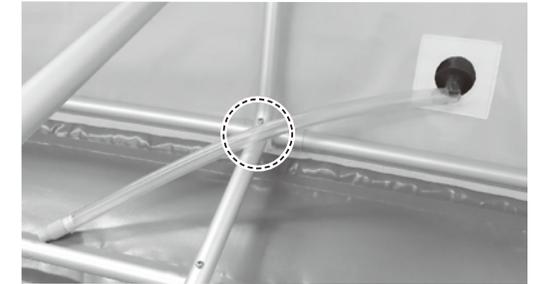


船体布を広げ、船体布とフレームの前後を間違えないように注意しながら船体布に入れます。必ずこれ以上入らないという所までバウ側にしっかり押し込んでください。この時、キールレール(ボトム内側の前・中央・後ろにある溝)にKパイプを合わせて、左右の中心がずれないように注意してください。

Spread the fabric cover, check the frame direction, and carefully insert the bow-side frame to the bow-side fabric cover. Make sure to insert the frame all the way while aligning the K pipe on the keel rail (the center grooved line on the fabric cover).



✗  
incorrect

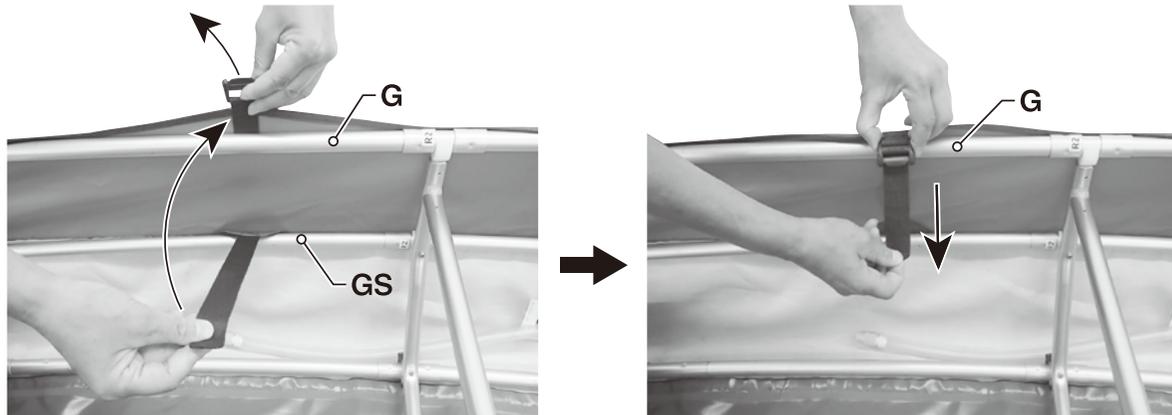


○  
correct

この時、エアチューブのホースがEパイプの上を通るように注意してください。ホースがEパイプの下に挟まれるとサイドエアチューブに空気が入りません(上図参照)。

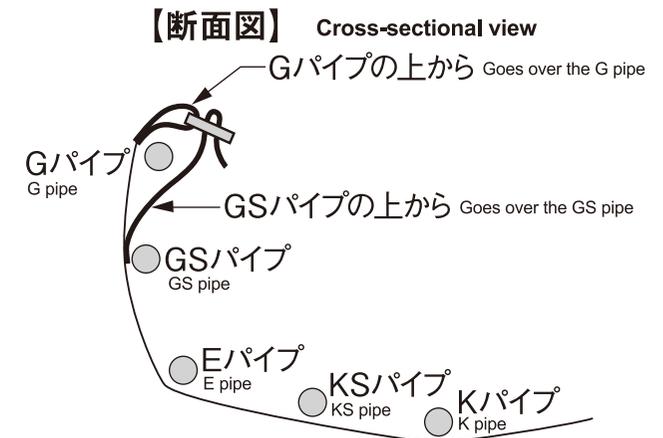
Ensure that the air tube hose is placed over the E pipe to prevent the hose from getting caught between the fabric cover and pipe. If caught, inflation will be difficult (see above).

## (11) サイドベルトの仮止め Temporarily fastening the side straps



サイドベルト(計16本)を仮止めします。下側のバックルの付いていないベルトをGSパイプの上から出し、上側のバックルの付いたベルトをGパイプの上から巻き込み、ベルトの末端をバックルに通して仮止めします(右図参照)。

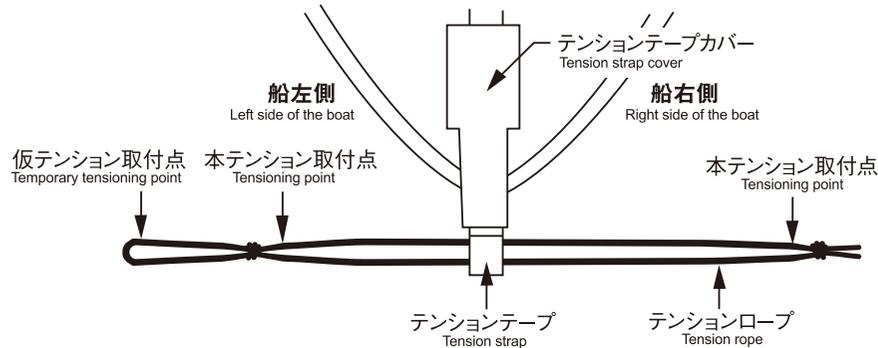
Temporarily fasten the side straps (total of 16). Pull the buckle-less strap out over the GS pipe and fasten to the upper buckle strap over the G pipe by threading the strap through the buckle (see the figure on the right).



## (12) 船体布にテンションを掛ける (無理をせず十分注意して行ってください)

## Tensioning the fabric cover (Exercise caution when tensioning)

### 船体布のテンション部の構成 Structure of the tensioning section of fabric cover



- ※ テンションロープはあらかじめ適切な長さにセットされているため、結び目を追加したり位置を変えないでください。過度のテンションが掛かりフレームが破損する恐れがあります。
- ※ テンションテープの摩耗を防ぐ付属のテンションテープカバーは外さずに使用してください。傷んできたら早めに交換してください。

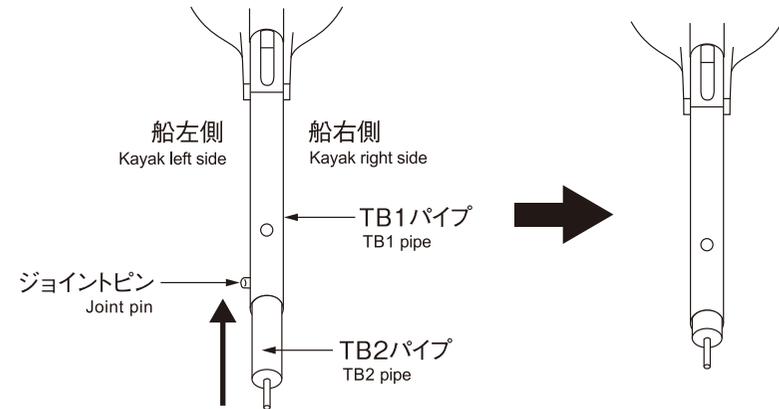
\* Note that the tension rope is pre-set to the appropriate length. Do NOT add any knots or change their positions. Excessive tension may cause damage to the frame.

\* Do NOT remove the tension strap cover as it protects the strap from wear and tear. Replace the cover if damaged.

### ① TBパイプを縮める Shortening the TB pipe

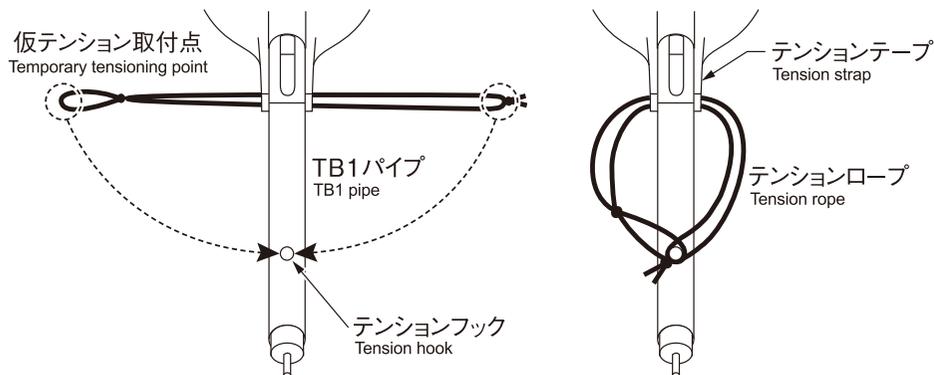
Kパイプ後端のTB1パイプのジョイントピンを押しながらTB2パイプを縮めてください。

While pressing down the joint pin on the TB1 pipe (located at the rear end of the K pipe), shorten the TB2 pipe.



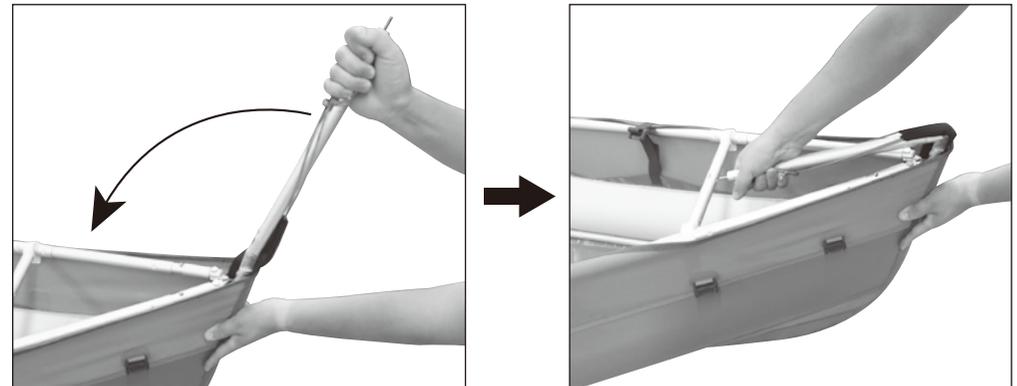
**注意** ジョイントピンを押す際に指を挟まないよう注意してください。  
**CAUTION** Be careful not to pinch your finger when pressing the joint pin.

### ② 仮テンションを掛ける Applying temporary tension



TB1パイプのテンションフックに船体布後部のテンションロープの両端(片側は仮テンション取付点)をTB1パイプの両側から掛けます。

Attach both ends of the tension rope (with temporary tensioning point at one end) from both sides to the tension hook on the TB1 pipe.



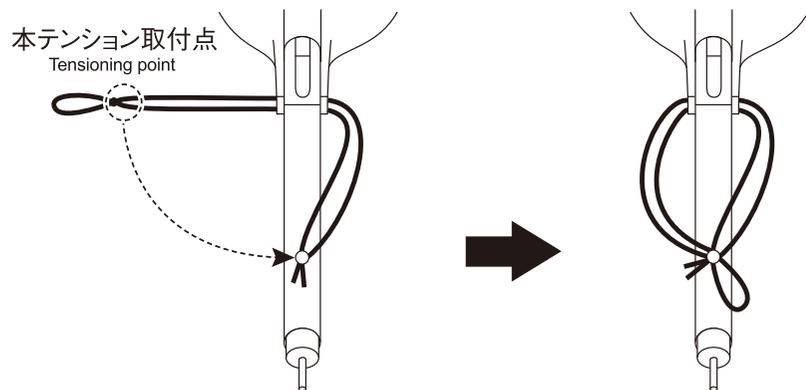
そのままゆっくりとTB1パイプを起こします。この時、Kパイプが船体布のセンターと合うように左右を調節しながらTB1パイプを水平になるくらいまで倒し、仮テンションを掛けます。

Slowly lift the TB1 pipe and bring it over until it becomes horizontal, applying temporary tension. Make sure that the K pipe aligns with the center of the fabric cover during the process.

### ③ 本テンションを掛ける Tensioning

仮テンションを掛け終わったTB1パイプを元の位置に戻し、テンションロープの片側を下図のように本テンション取付点に掛け直します。その後、TB1パイプを再びゆっくりと起こし、本テンションを掛けます。

Return the TB1 pipe to its original position. Reattach the tension rope ends to the tension hook, using the tensioning point at one end this time. Then, slowly lift the TB1 pipe again and apply tension.

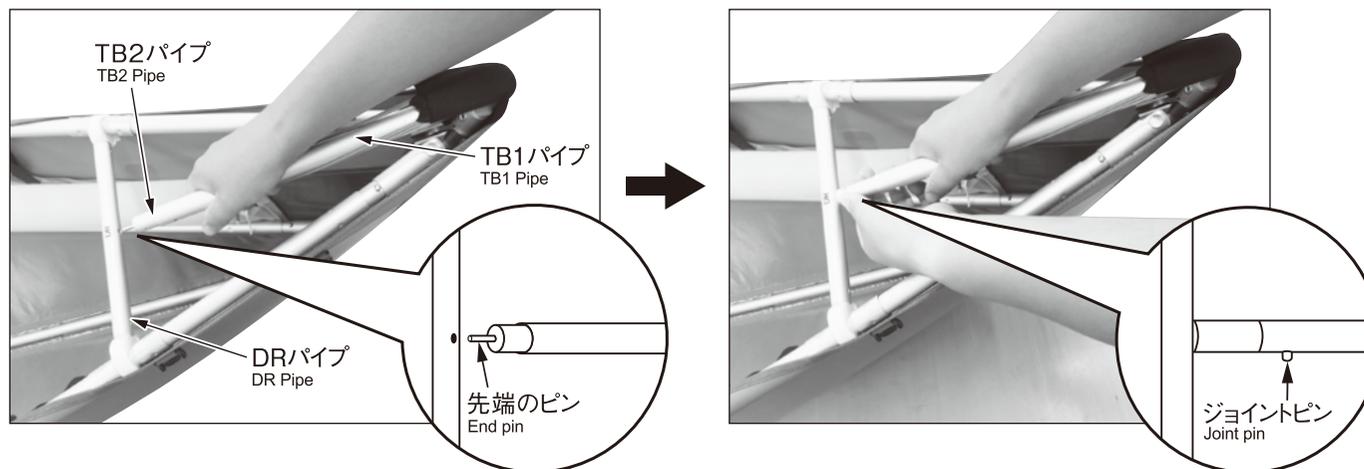


**注意**  
**CAUTION**

船体布にテンションを掛けた状態でTB1パイプから手を離すと急激にTB1パイプが戻り危険ですので、TB1パイプを固定するまで手を離さないでください。

Do NOT release the TB1 pipe during tensioning, as it recoils violently. Continue holding the pipe until it is securely fixed in place.

### ④ TB2パイプで固定する Securing with the TB2 pipe



**注意**  
**CAUTION**

パイプを差し込む際に指を挟まないようにご注意ください。  
Be careful not to pinch your fingers when inserting the pipe.

TB1パイプを抑えながらTB2パイプの先端のピンをDRパイプの穴へ差し込み、ジョイントピンで固定します。

While holding down the TB1 pipe, insert the end pin of the TB2 pipe into the hole in the DR pipe. Then, secure it with the joint pin.

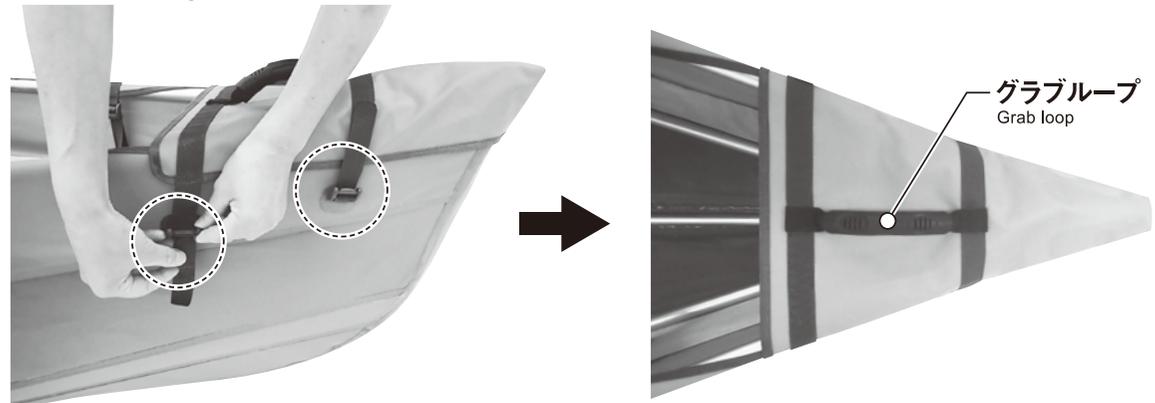
**(13) サイドベルトを締める**  
Tightening the side straps



仮止めたサイドベルト(計16本)を左右均等に締めます。

Tighten the temporarily fastened side straps (16 in total) evenly on both sides.

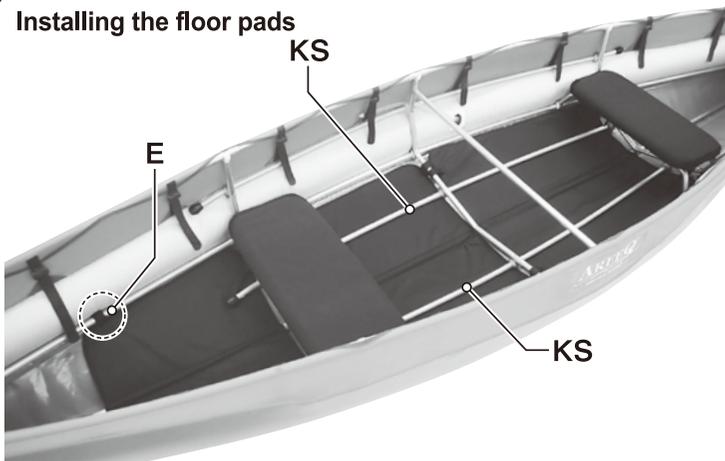
**(14) スターンエンドカバーのセット**  
Installing the stern end cover



スターンエンドカバーのベルトを本体の左右両側にある2箇所のバックルに通して締めます。この時、Grabループが船体の中心になるように注意してください。

Thread the straps on the stern end cover in the buckles (two each on both sides) of the product and secure them in place, ensuring that the grab loop is positioned in the center.

**(15) フロアパッドのセット**  
Installing the floor pads



バウ側  
Bow

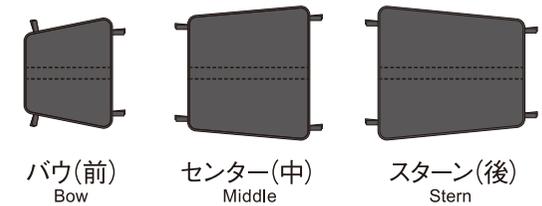
付属のフロアパッド3枚をKSパイプの下に敷き、ベルクローをリブR1～3に巻き付けて固定します。バウ側のフロアパッドの前側のベルクローはEパイプに巻き付けます。

Place the three floor pads under the KS pipes and secure them by wrapping the hook-and-loop straps around cockpit ribs R1-3. Attach the front straps of the bow-side pad to the E pipes to fix.

※本製品はフロアパッドを敷かなくても使用できます。お子さまが乗艇する際や膝を立てて漕ぐ際などに使用してください。

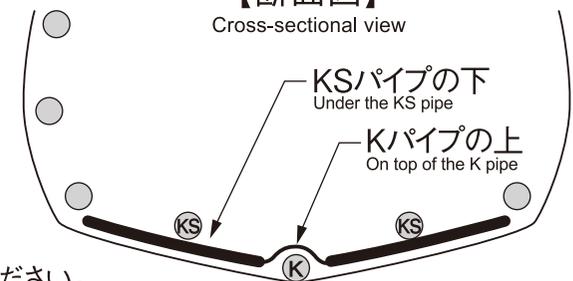
\* This product can be used without the floor pads. The pads are useful when children are boarding or when paddling in a kneeling position.

**【各フロアパッドの形状】**  
Shape of each floor pad



**【断面図】**

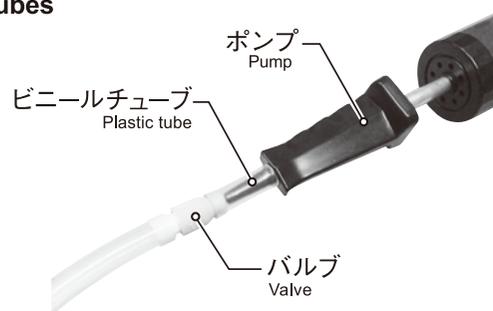
Cross-sectional view



## (16) サイドエアチューブに空気を入れる Inflating the side air tubes

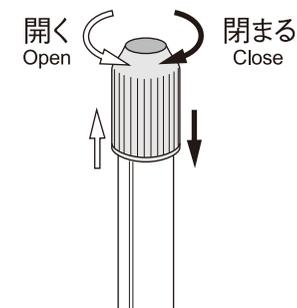


左右のサイドエアチューブが均等になるように空気を入れます。  
Inflate the side air tubes evenly on both sides.



サイドエアチューブのホースの先端にあるバルブを開き、ポンプと付属のビニールチューブをバルブにしっかりと差し込み、空気を入れます。

To inflate, open the valve on the hose tip of the side air tube and connect the air pump to the valve using the included plastic tube.



空気を入れ終わったらバルブを閉めます。  
Close the valve when completed.

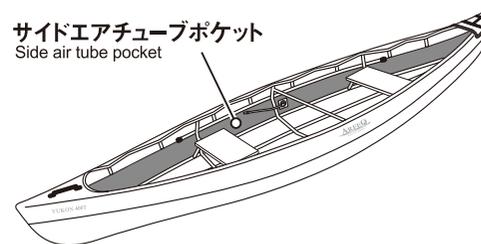


**注意**  
**CAUTION**

空気を入れすぎるとサイドエアチューブポケットに入り込んだ石等によりパンクの恐れがあります。また、高温によりチューブが膨張してパンクする恐れがありますので空気の入れすぎには十分注意してください。

Do NOT excessively inflate. Overinflation can lead to punctures from stones or debris in the side air tube pocket. High temperatures may also cause the tube to expand and rupture.

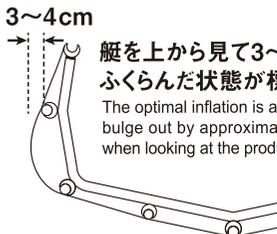
サイドエアチューブポケット  
Side air tube pocket



3~4cm

艇を上から見て3~4cm程度  
ふくらんだ状態が標準

The optimal inflation is achieved when the sides bulge out by approximately 3 to 4 centimeters when looking at the product from above.



## (17) 完成 Complete

最後にテープのゆるみ、左右のバランス等をチェックし、問題がなければ完成です。

組み立てた状態で1日程度放置することで船体布が伸びてよりフレームになじみ易くなり、2回目以降の組み立てがより簡単に正確になります。

Check for loose hook-and-loop straps and overall balance to complete.

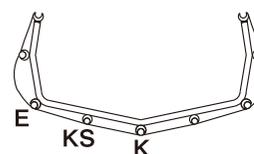
By leaving the product assembled for about a day, the fabric cover stretches and conforms better to the frame. This makes future assemblies easier and more precise.



**注意**  
**CAUTION**

ボトム側のフレーム(E、KS、K)は、リブチャネルとベルクロで固定されていますが人の体重を支えられる程の固定力はありません。乗艇中はフレームに体重をかけないように注意してください。リブチャネルからフレームが外れる恐れがあります。

The bottom pipes (E, KS, K) are secured to the rib channels using hook-and-loop straps. These straps do not have enough holding power to support a person's weight. Be cautious when boarding and avoid putting your weight on the frame, as there is a risk the frame may detach from the rib channels.



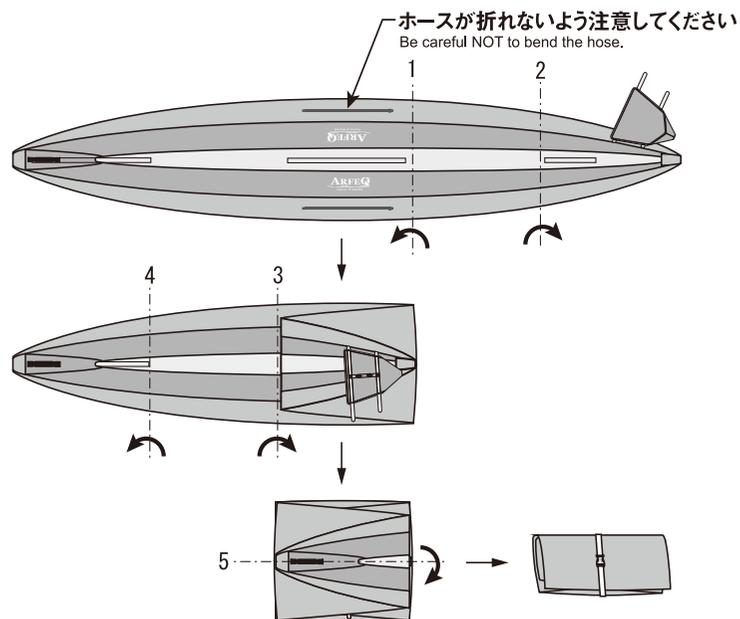
## ● 分解、収納方法 Disassembling and packing

- ① サイドエアチューブのホース先端のバルブを開いて、サイドエアチューブ内の空気を抜き、ある程度抜けた時点でサイドベルトを外します。
- ② スターンエンドカバーを外し、TB1パイプを抑えながらTB2パイプのジョイントピンを押してDRパイプからTB2パイプを外します。そのままゆっくりとTB1パイプを後ろへ倒してテンションをゆるめテンションロープをテンションフックから外します。
- ③ 船体布からフレームをゆっくりと抜き、フレームをセットアップとは逆の手順で分解します。  
《注意》G・E・GSパイプは跳ね返る力が強いので足などに当たらないように充分注意してください。リブチャンネルやAタングからパイプを取り外す際は、必ず手を添えてください。
- ④ 最後にパイプを折りたたみフレームスタッフバッグへ収納します。  
《注意》パイプを端からたたむと中のゴムが均等な伸びにならないので、各パイプの中央付近の継ぎ目からたたむようにしてください。

- ① Open the valve on the hose tip of the side air tube and let the air out. Once enough air has been released, remove the side belt.
- ② Remove the stern end cover. Press the joint pin of the TB2 pipe while holding down the TB1 pipe, and disconnect the TB2 pipe from the DR pipe. Carefully tilt the TB1 pipe backward to reduce tension, and detach the tension rope from the tension hook.
- ③ Carefully remove the frames from the fabric cover and disassemble the frames by following the setup steps in reverse order.  
CAUTION: The G, E, and GS pipes have strong spring-back force and could cause injury. Always keep a firm grip on the pipes when removing them from the rib channels.
- ④ Fold the pipes and store them in the frame stuff sack.  
CAUTION: To extend the shock cord's lifespan, fold each pipe from the center joint towards the ends. This spreads tension evenly.

## 【船体布のたたみ方】 Folding the fabric cover

船体布を下図のように折りたたみ、シンチバンドでまとめます。  
Fold the fabric cover as shown below and tie it with the cinch band.



## 【キャリングバッグの使い方】 Using the carrying bag



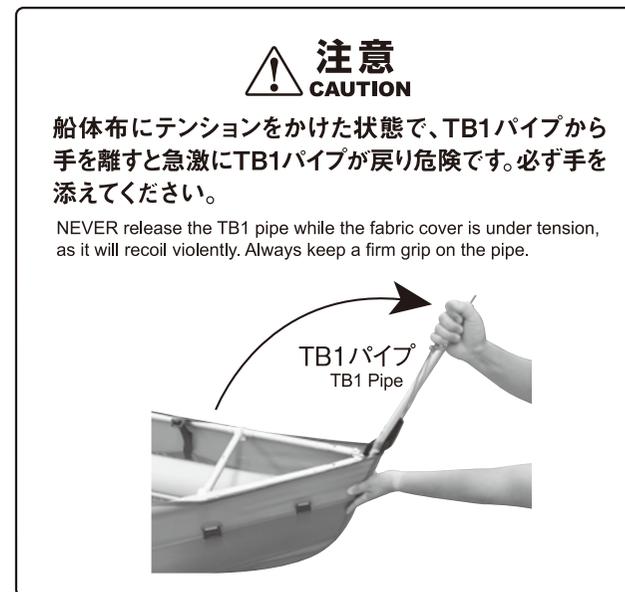
下から船体布、パイプ、小物類の順でキャリングバッグに収納し、荷物を中のストラップで固定します。

Pack in the following order: fabric cover, pipes, smaller items, and then secure everything together with the internal straps.



ジッパーを閉め、外側のストラップを閉めます。  
Close the zipper and fasten the outer straps.

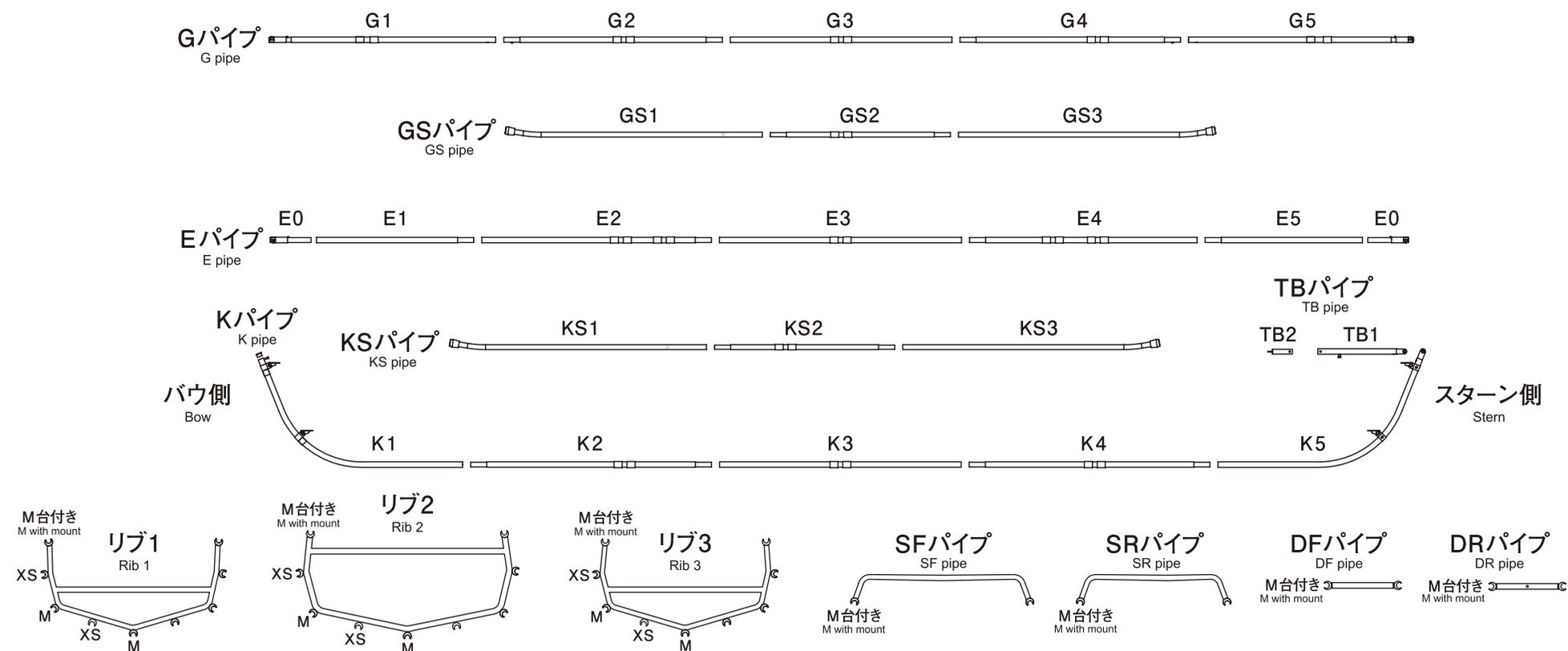
背面のショルダーストラップをセットすればバックパックとして背負うこともできます。  
Setting the shoulder straps on the back allows for use as a backpack.



## 修理及びパーツリストについて Repair and Component list

- 万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
- パーツのご依頼の際は必ず商品名・製造番号・パーツ名称をご連絡ください。
- 一部店舗では破損・紛失の多い部材の販売を行っています。詳しくは下記へお問い合わせください。
- 一部交換用パーツ及びメンテナンス用品等はモンベルホームページからもお買い求めいただけます。
- If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.
- When ordering parts, be sure to provide the product name, manufacturing number, and component name.
- Frequently damaged or lost components are available in selected Montbell stores. Contact Montbell Customer Service for more details.
- Certain replacement components and maintenance supplies are available at the Montbell online store.

### フレームパイプの各パーツ名称 Yukon 400T frame, pipe, components



※リブチャンネルには、M台付き、M、XSの3種類があります。

\* There are three types of rib channels : M with mount, M, and XS.

※リブチャンネル用ネジサイズ M台付き：M4×16 M・XS：M4×26

\* Rib channel thread size : M with mount: M4x16 M and XS: M4x26

【お問い合わせ・商品・修理・アフターサービス・その他】

株式会社 **モンベル** 本社：〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 モンベルホームページ <https://www.montbell.jp/>  
 カスタマー・サービス Tel.06-6531-3544 フリーコール：0088-22-0031

【Please call us for any inquiries regarding the folding kayak】

Montbell Customer Service : Tel.06-6531-3544 Toll Free : 0088-22-0031  
 Website <https://www.montbell.com/>